

「多剤耐性結核の分子疫学的解析、診断・治療法の開発に関する研究」に関する 第 1 回 班会議を開催しました(2016/6/25)

テーマ:災害感染症,多剤耐性結核、分子疫学
場所:東北大学医学部星陵キャンパス

平成 28 年 6 月 25 日に東北大学医学部 1 号館大会議室において、災害科学国際研究所 災害医学研究部門 災害感染症学分野が、日本医療研究開発機構 (AMED) 委託研究開発費、服部班「多剤耐性結核の分子疫学的解析、診断・治療法の開発に関する研究」の平成 28 年度第一回班会議を主催しました。研究開発代表者である服部俊夫(教授、吉備大学)をはじめとして研究開発分担者・研究協力者を含め 13 人が参加し、日本とアジアの多剤耐性結核の分子疫学、外国人に多い多剤耐性結核の実体、迅速な診断と隔離法、結核を発症しやすい免疫不全の免疫病態などの最先端の研究発表と活発な討議を行いました。この研究班では、日本だけでなくアジア 9 カ国の結核菌及び多剤耐性結核状況の特性を解析するために、国際的な災害感染症研究ともいえる結核感染症の研究を展開しています。発表の題目などは以下のとおりです。

- 吉備国際大学 服部俊夫「本班の目的と結核におけるマトリセル蛋白発現とその抑制」
公益財団法人結核予防会複十字病院 佐々木結花「多剤耐性結核患者の治療効果と副作用—第一報」
東北大学大学病院 宮崎真理子「慢性腎臓病患者の結核感染に関する背景因子」
国立病院機構東京病院 小林信之「東京都市圏における多剤耐性結核」
財団法人結核予防会結核研究所 下内昭「大阪市の多剤耐性結核の治療結果および外国人結核等の VNTR 分析による疫学研究」
国立研究開発法人国立国際医療研究センター 切替照雄「結核菌の次世代シーケンサによる包括的解析法の開発」
東北大学・災害感染症学分野 C.-Y.ホルロ「サンラザロ病院における MDR-TB の現状」
財団法人結核予防会複十字病院 野内英樹「難治性結核の分子疫学解析」
北海道大学 人獣共通感染症リサーチセンター 鈴木定彦「スリランカで分離した結核菌株の遺伝子型解析」
財団法人結核予防会結核研究所 生体防御部 慶長直人「多剤耐性結核を含むベトナム人結核患者の血中アディポサイトカイン濃度と臨床疫学指標との関連」

